

いくのです。ですから私たちの仕事には決められた終着点がないのです。

◆みんなが豊かに暮らせるためのユニバーサルな取り組み

今後の事業展開は、時代の変化やニーズにより、変化していきま。ただ目指すべきことは、「コミュニケーション」からさらに特化した「ユニバーサルコミュニケーション」という考え方です。老若男女、健常者、障害者を問わず、いろんな立場の人が生活しやすい環境やシステムを作るためのコミュニケーションサポートに取り組みます。お互いの尊厳を大切にしながらより豊かな暮らし、生活、社会を作るためのユニバーサルなコミュニケーションを実現できるような仕事をしていきたいと考えています。2003年の電動車いすサッカー全国大会でのコミュニケーションツールのプランニングで、大きな成果を上げたことが「ユニバーサルコミュニケーション」の発想の原点です。

最近では、視覚障害者のための公共トイレにおける携帯電話とICタグを使った音声ガイドの開発などにも参画しています。また、

企業のコールセンターのシステムを開発したり、地域との新しい関わり方を考えた大学作りを提案したりと、幅広い分野に仕事が発展しています。社会に役立つモノ、多くの方に喜んでもらえるモノを考え、提案していけば必ずビジネスに結びつき、事業として成り立っていくと考えています。コンサルティング、企画、実施までを一貫してやり遂げることが当社の強みでもあります。

◆やりたいことを実現するために会社を活用してください

会社の基盤を固めるということを考えて、やはり人材が大切ですが、具体的な人物像となると難しいと思います。「元気でよく笑う人」がいいと思います。やりたいことをやっている人は元気。だからよく笑う。あるいは、やりたいことを探している人も元気です。そしてそういう人たちはエネルギーがあります。エネルギーを感じられる人、仲間にエネルギーを与えてくれるような人と一緒に仕事をしたいと考えています。

よくスタッフに言っていることは「会社はやりたいことを実現する場所です。あなたのやりたいこ

とを実現するために、どうぞ会社を活用してください。仲間もいます。手伝えることは何でも手伝います。そしてあなたも、仲間へのお手伝いをお願いします」と。こんな会社に興味のある方はいつでもお会いしたいと思っています。

◆やってみないと分からない。だから仕事って面白い

「あなたにとって仕事って何ですか」と、面接の時によく聞いた時期がありました。残念ながら、心に響く答えに出会うことがないまま、最近はやめてしまいました(笑)。「仕事って何だろう」と考えた時、やってみないと分からないから面白いと思うのです。最初から結果が分かっていることは面白くないし、挑戦したいとも思わない。どうなるか分からないから挑戦したくなるし、エネルギーも湧いてくる。仕事と向き合おうとする時、そのことを忘れている人たちが非常に多いような気がします。そのことに気付けば、仕事はもっと面白くなるし、挑戦したくなると思います。

会社DATA

【設立】 1991年4月

【資本金】 1000万円

【従業員数】 31名

【売上高】 3億4000万円
(2005年8月期)

【所在地】 石川県金沢市西都1-54

【事業内容】 地域に関する調査/人材育成の総合企画・実施、セミナー・研修等の企画・実施・運営/イベントの企画・運営/商業施設の総合企画/ヒューマンネットワークのコーディネート



【PROFILE】

- 1985年 新潟大学工学部卒業
- 1991年 (株)パステルラボ設立
- 1999年 東京麻布オフィス開設
- 2004年 名古屋オフィス開設
- 好きな言葉 志

株式会社
パステルラボ
代表取締役
伊藤 数子

みんなが「もっと良くなる」ための コミュニケーションサポートを 事業化し、ユニバーサルに取り組む

Top's Interview
【トップインタビュー】

◆会社の深い所に関わらなければいいモノはできないと思った

大学を卒業後は、映像制作会社に入社し、映像を制作していました。映像というのは最終段階の表現メディアで、映像を作る人だけじゃありません。もし企画段階から参加していたら、もっと商品のことを知っていたら違った見せ方があるのではないかと、映像よりもっといい手段があるのではないかと、という思いが次第に強まってきました。人に何かを伝えるためには、そのモノの根幹に関わらなければならぬと思うようになったのです。そして会社や人の深い所にまで関わった仕事をしていきたいと

思い、28歳の時に「コミュニケーションプランナー」という職業を考え、事業を立ち上げました。

◆コミュニケーションをテーマにしている企画会社

ひとことで簡単に言えばコミュニケーションをテーマにしている企画会社です。例えば、地域の方とコミュニケーションを図れるような会社のショールームを作るとしましょう。ショールームができたら、オープニングのイベントをやりましょう、ということに。そこで働くスタッフの制服も作りましょう、と仕事がどんどん広がります。社員研修や教育にまでも発展して